

事業経営の方向性

目指す方向性

シャープには、誠意と創意という創業以来大切に継承してきた「不変の価値観」、まねされる商品を創出し、新しい暮らしを実現してきた「100年を超える歴史」、幅広い事業、AIoTや8K、5Gをはじめとした特長技術、革新的なデバイスといった「独自の強み」など、これまでに築いてきた確固たるアイデンティティがあります。

一方で、世の中に目を向けると、withコロナ/afterコロナ時代のニューノーマルの確立、多様なライフスタイルの実現、医療や介護問題の解

決、労働力不足の解消、脱炭素社会の実現など、様々な社会課題が表面化しています。

こうした中、シャープでは、事業ビジョン「8K+5GとAIoTで世界を変える」の具現化、つまり、シャープならではのハードウェアやソリューションの提供を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。

そして、人や社会に寄り添い、常に新たな価値を提供し続ける「強いブランド企業“SHARP”」を確立していきます。

今後の取り組み方針

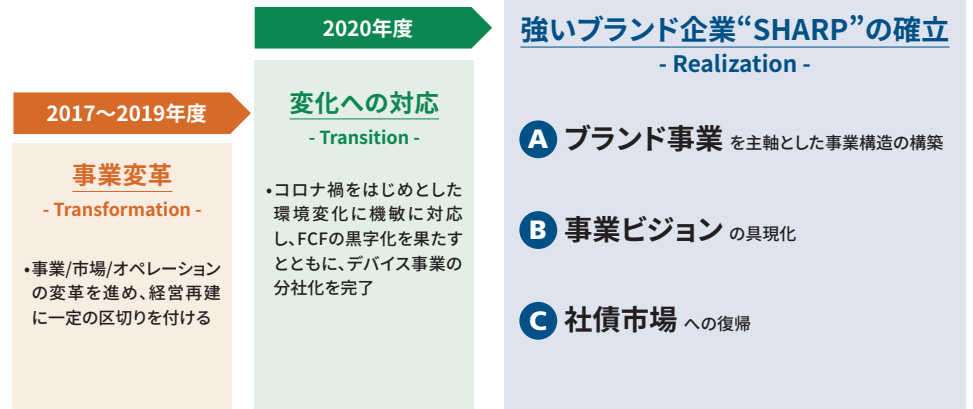
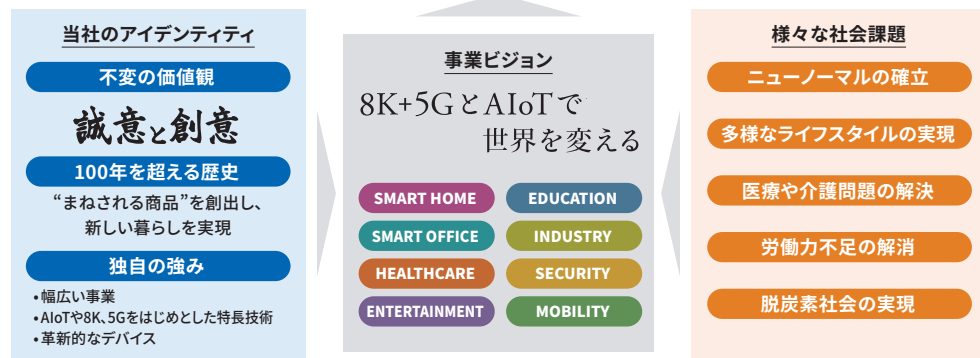
シャープでは、2017年度から3年間に亘って、事業/市場/オペレーションの変革に取り組みました。この結果、毎期、確実に利益を計上するとともに、財務状況が悪化した際に発行した種類株式の全てを消却するなど、財務体質も改善させ、経営再建に一定の区切りをつけることができました。

さらに、2020年度は、次々と起こる事業環境の

変化に機敏に対応し、フリー・キャッシュ・フローの黒字化を果たすなど、着実に経営改善を進めました。

こうした成果を基盤として、2021年度からは、「強いブランド企業“SHARP”」の早期確立に向け、「ブランド事業を主軸とした事業構造の構築」、「事業ビジョンの具現化」、「社債市場への復帰」の3つの取り組みを重点的に推進しています。

人や社会に寄り添い、常に新たな価値を提供し続ける 強いブランド企業“SHARP”



事業経営の方向性

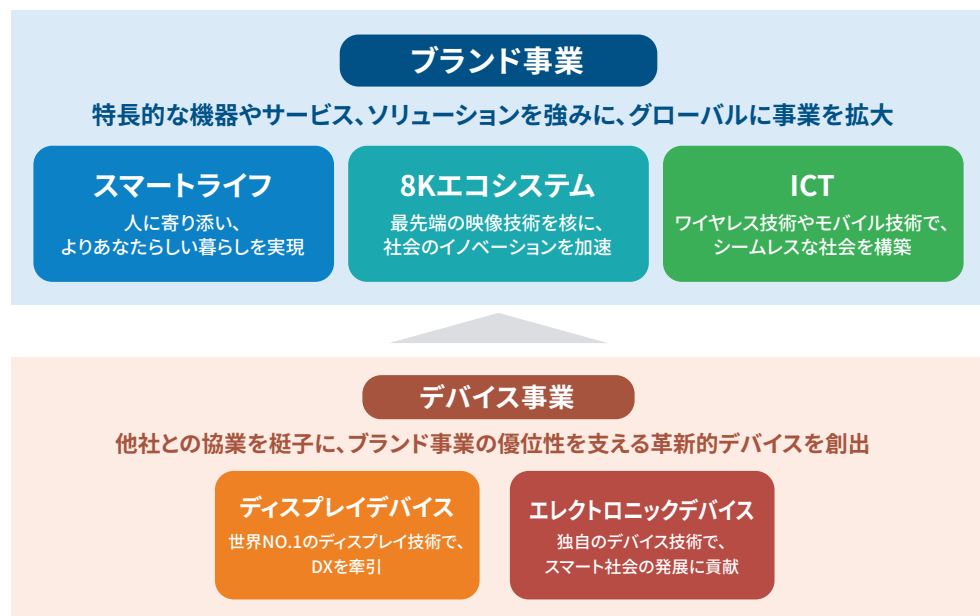
ブランド事業を主軸とした事業構造の構築

シャープには、スマートライフ、8Kエコシステム、ICTという3つのブランド事業と、ディスプレイデバイス、エレクトロニックデバイスという2つのデバイス事業があります。

ブランド事業では、特長機器やサービス、ソリューションを強みに、グローバルに事業を拡大し、シャープブランドのさらなる向上を目指します。

一方、デバイス事業では、他社との協業を梃子に競争力を強化し、ブランド事業の優位性を支える革新的デバイスの創出に取り組みます。

また、事業ごとの考え方や取り組み、成果をより明確にするため、2021年度の第1四半期より、開示セグメントを3セグメントから上記の5セグメントに変更しています。



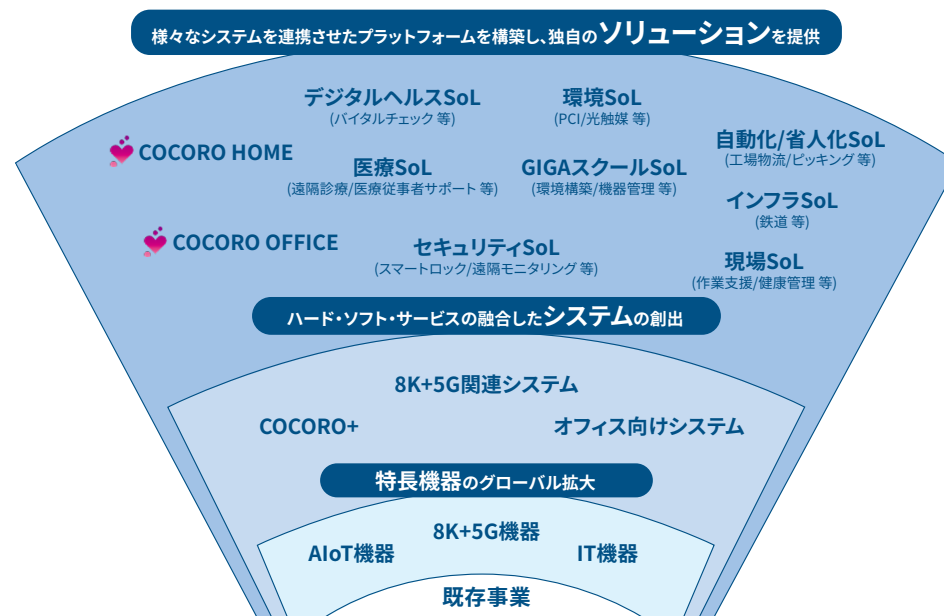
事業ビジョンの具現化

シャープでは、「8K+5GとAIoTで世界を変える」を事業ビジョンに掲げ、8Kや5G、AIoT等の先端技術を搭載した特長機器を創出し、グローバルに展開しています。

そして、これらのハードウェアにソフトウェアやサービスを融合したシステムを創出し、さらには、様々なシステムを連携させたシャープならではのプラットフォームを構築し、独自のソリューションを提供

はのプラットフォームを構築することで、独自のソリューションを提供していきます。

また、こうした取り組みを通じて収益力の強化を図り、ブランド事業においては、近い将来、営業利益率7%以上を達成したいと考えています。



事業経営の方向性

社債市場への復帰

シャープが、持続的に成長するためには、より強固な財務基盤を構築することが不可欠であると考えています。

こうした考えに基づき、「量から質へ」の徹底、運転資金の圧縮により、営業キャッシュ・フローの最大化を図っています。また、安定した収益が見込めるブランド事業への投資拡大やデバイス事業における外部資金の獲得など、投資効率の向上に向けた取り組みを強化するとともに、戦略上必要となる投資については積極的に行って

いきます。

そして、毎期、安定的にフリー・キャッシュ・フローを創出し、適切な株主還元を行いながら、有利子負債の削減など、財務体質の改善を進めていきます。

当面の目標としては、「NET DER 1.0倍未満」と「自己資本比率 25%以上」を目指します。そして、将来の社債市場への復帰に道筋をつけていきたいと考えています。

当面の目標



ESGの取り組み方針

ガバナンスの面では、企業価値向上を実現するコーポレートガバナンスの構築に向け、取締役会の機能向上やグループガバナンスの強化に取り組むとともに、ステークホルダーの皆様とは、今後とも積極的に対話を続けていきたいと考えています。

環境の面では、長期環境ビジョンである「SHARP Eco Vision 2050」に沿って、CO₂排出量の削減や、さらなるクリーンエネルギーの創

出、環境負荷の低減などに取り組んでいきます。

社会の面では、「Smart Home」「Smart Office」「Healthcare」「Entertainment」「Education」「Industry」「Security」「Mobility」という8つの重点事業分野を中心とした事業活動を通じて、社会に貢献していきます。あわせて、サプライチェーン全体でのCSRなどにもしっかりと取り組んでいきます。



企業価値向上を実現するコーポレートガバナンスの構築

- 取締役会のさらなる機能向上に向けた体制づくり(経験の多様化、専門性の高度化/多様化等)
- グループガバナンスの強化
- より適切な情報開示 及び ステークホルダーとの継続的な対話



SHARP Eco Vision 2050の遂行

- 2050年に自社活動のCO₂排出量をネットゼロへ
- サプライチェーン全体で消費するエネルギーを上回るクリーンエネルギーの創出
- 企業活動で生じる地球への環境負荷の最小化



事業活動を通じた社会への貢献

- 8つの重点事業分野を中心とした社会課題の解決
- サプライチェーン全体でのCSRの推進
- グローバル各地域での継続的な社会貢献活動